

# 自然解説をしてみよう

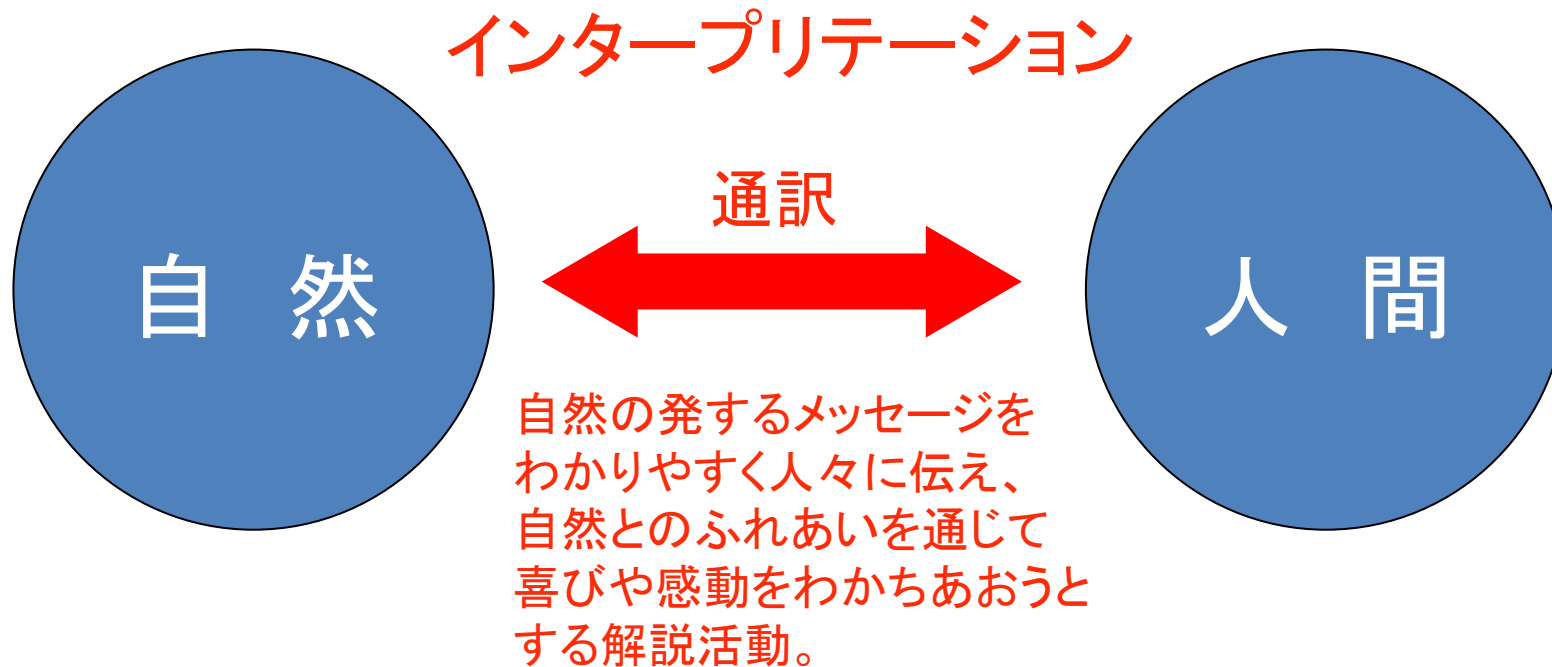
(インタープリテーション)

2018パークレンジャー養成基礎研修

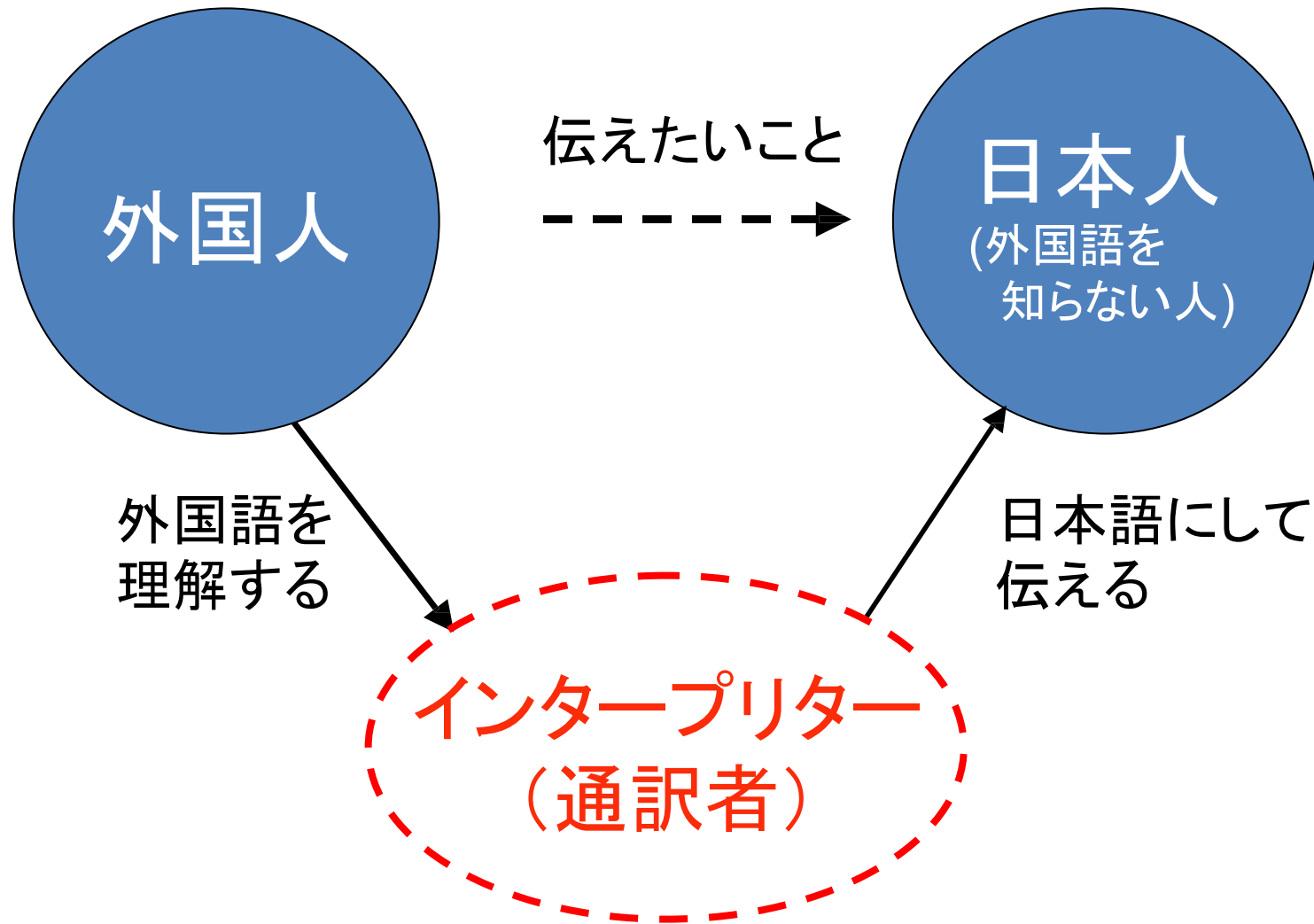
 NPO法人日本パークレンジャー協会

# 1. インタープリテーション

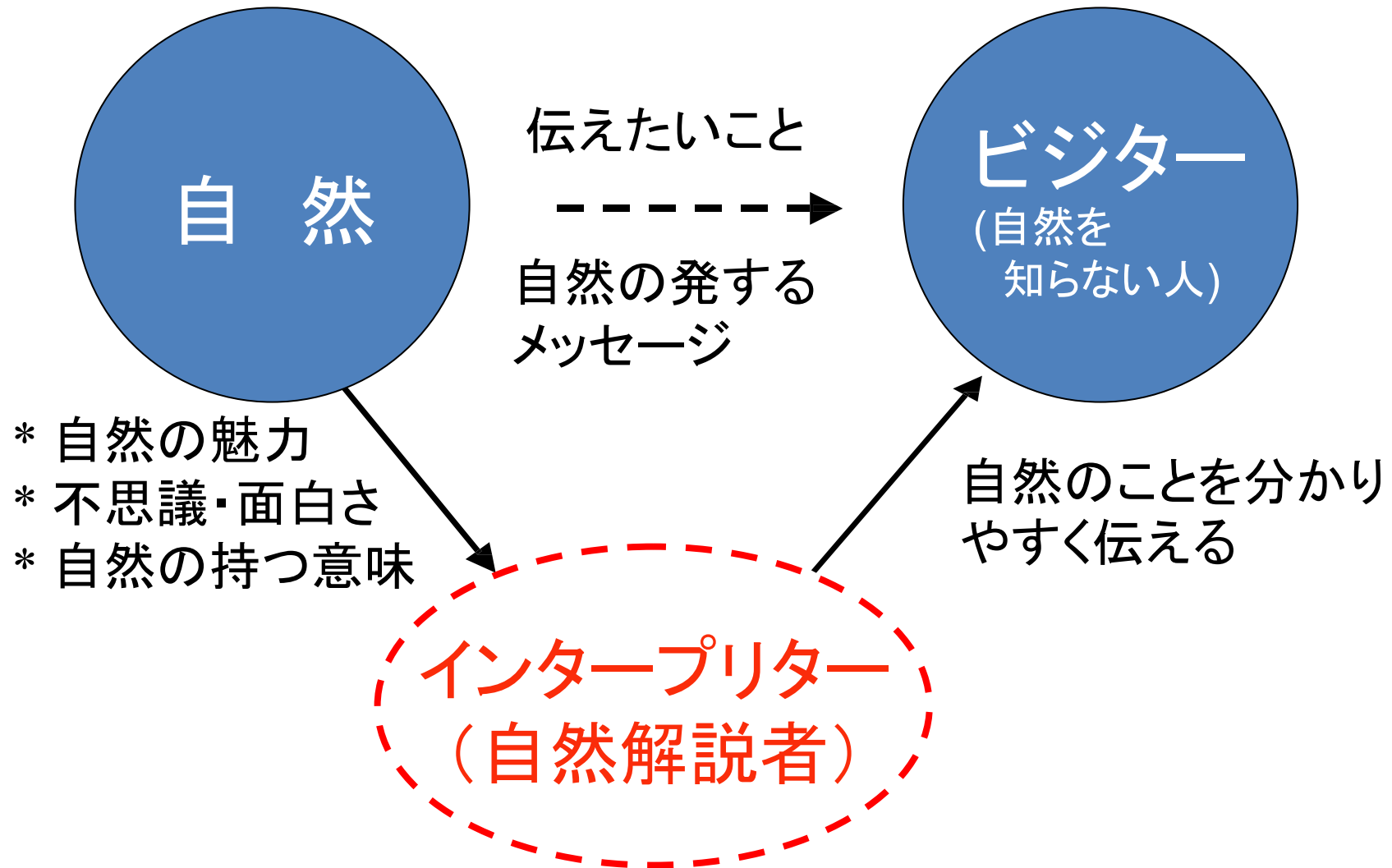
- **インタープリテーション**：通訳、解説  
(Interpretation)
- **インタープリター**：通訳者、解説者  
(Interpreter)



## 2. 言葉の通訳 (Language Interpretation)



### 3. 自然の解説（Nature Interpretation）



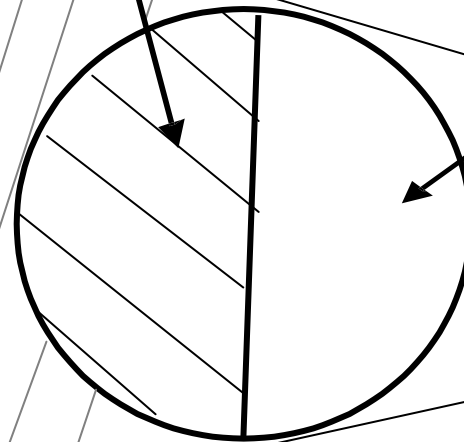
## 4. 伝えたいことは

**興味を刺激する・共感させる**

五感を使って体験させる

(生態・しくみなど)

表から見えない  
そのものが持つ  
意味や価値  
ものの見方・考え方



知識・情報

(固有名詞・分類など)

対象物

伝えたいのは、自然の仕組/人と自然の関係/自然の不思議/生命の歴史....  
自然に対する感動・畏敬の念、自然をいつくしむ心

## 5. 先駆者の言葉

- 「ネイチャーガイド(インタープリター)の仕事は、知識や情報を与えるというよりは、興味を刺激し啓発するという要素のほうが強い」(イーノスA.ミルズ)
- インタープリテーションは、単に知識や情報を伝達することではない。  
インタープリテーションは啓発であり、知識や情報の伝達を基礎にしているが、両者はイコールではない、しかし、知識や情報の伝達を伴わないインタープリテーションはない。
- インタープリテーションの主眼は教えることではなく、興味を刺激し、啓発することである。(フリーマン・チルデン)
- 「草や木、小川、シダ、鳥、岩、そして興奮と情熱があれば、自然ガイドはできる。あれもこれも知らなくてはなんて思う必要はない。知識は後からでも覚えられる。」(ジョシュ・バーキン)
- 「インタープリターには二つの義務があります。役に立つ知識や情報をあたえることと、それを記憶しやすい形で示すことです。」(デニス・オルソン)
- 「知る」ことは「感じる」ことの半分も重要ではない(レイチェル・カーソン)

## 6. 自然解説の進め方(1)

### 1. テーマを選ぶ

(例) 植物の美しさと、それが種になり命をつなぐ姿を見せ、植物の生き残り戦略、他の生き物との関係について伝える。

### 2. テーマについて調べる

3. ビジターについて知る → 雑談やちょっとした質問などでもある程度把握できる。

#### ① ビジターが好きなことは何か

- ・五感を使って経験できること
- ・ユーモア
- ・新しい知識や情報が理解しやすい形で示されること
- ・熱意があるインタープリター

#### ② ビジターが嫌いなことは何か

- ・無味乾燥の話
- ・しゃべりすぎるインタープリター
- ・専門的すぎるプログラム
- ・だらだらしたプログラム

#### ③ ビジターの特徴

- ・子ども
- ・高齢者
- ・外国人
- ・視覚障がい者
- ・聴覚障がい者
- ・歩行困難者
- ・家族

## 7. 自然解説の進め方(2)

### 4. トーク

- ① つかみ           ・アイスブレイキング
- ② 声               ・一番遠い人に届くように。   ・歩くときは先頭に。
- ③ 言葉            ・会話調で、具体的に、わかりやすい言葉で。  
                  ・専門用語はほどほどに   ・固有名詞はゆっくり、はっきり
- ④ 話を取捨選択する   話の断捨離
- ⑤ ビジターの年齢に合わせる   子ども・大人混成の場合は子どもに合わせる

### 5. 問いかけ       聞き手に参加させる。クイズを使っても良い。

- ・これは何でしょうか。
- ・～はどういうことでしょうか。～はなぜでしょうか。
- ・あなたはどう思いますか。どう考えますか。

### 6. 五感を活用させる   見ることに集中しがちになる。耳、口、鼻、手なども大いに活用することで、より深く観察できる。

### 7. 小道具を使う

- ・紙芝居   ・写真   ・標本(植物の種、動物の食痕・糞など)
- ・観察グッズ(双眼鏡、ルーペ、図鑑、採取用ケース、スケッチブック  
                  ミニホワイトボード、巻尺・スケール、霧吹き)



## 8. 自然解説の流れ(プログラム)

- 開会のあいさつ：XXを始めます / 私はZZZです
- 導 入：どんなことをするのか説明する(つかみ)
- 本 体：観察・体験・協力・五感・作業・発見・表現....
- ふりかえり/わかちあい：体験の紹介  
参加者が体験を通じての気づき・学びを紹介し合う
- まとめ：「自然の大切さ」を自分の言葉で伝える
- 閉会：ありがとうございましたこれで終わります

自然に親しむ → 自然を知る・理解する → 大切にする人になる

## 9. インタープリターに求められるもの

### ●心構え

- ・自然全体を見る
- ・教えるよりも影響を与える姿勢
- ・興味を持たせる
- ・周到な準備をする
- ・細かい名前や分類にこだわらない
- ・自然と人間とのかかわりを考える
- ・自分が体験した驚き、感動を伝える

### ●分野を広くもつ

植物、昆虫、野鳥、動物など生き物の相互関係や森林内外の気温や湿度などを総合的に観察することで、森林という環境の概略を理解することができる。

### ●すべてを網羅することは無理

違う人たちと一緒に自然観察を実施するうちに、いつの間にかさまざまな知識が吸収される。

### ●原体験を数多くもつ

本に書いてあること、人から聞いた話をうのみにして、それをそっくり受け売りしていたのでは本当の成果は得られない。自分の目や手で実際に確かめることが必要。

### ●自分のフィールドをもつ

遠くの原生林よりも、しばしば足を運べる近くの公園や近郊の雑木林など。四季を通じて定点観察できる。

### ●経験は最大の武器

解説経験こそインタープリターにとっては最大の武器。  
博物館や民間の自然観察会などに参加して、テクニックを学びとるのも良い。

---

メモ